

事例番号:300508

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第六部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 40 週 1 日 血圧 140/88mmHg、再測定で 115/93mmHg

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 41 週 1 日

時刻不明 健診のため受診、血圧 146/88mmHg、再測定で 139/96mmHg、帰宅

22:00 陣痛開始

23:25 陣痛開始のため入院、痛みで動けず

#### 4) 分娩経過

妊娠 41 週 1 日

23:37- 胎児心拍数陣痛図で徐脈を認める

妊娠 41 週 2 日

1:12 超音波断層法で高度徐脈を認め帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で常位胎盤早期剥離の所見

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:41 週 2 日

(2) 出生時体重:3154g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.804、PCO<sub>2</sub> 147.9mmHg、PO<sub>2</sub> 5.0mmHg、

HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 23.2mmol/L、BE -17.6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 0 点、生後 5 分 0 点

(5) 新生児蘇生：人工呼吸（バググ・マスク、チューブ・バググ）、気管挿管、胸骨圧迫、アドレカリン注射液投与

(6) 診断等：

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見：

生後 14 日 頭部 MRI で多嚢胞性脳軟化症、両側淡蒼球、視床の信号異常を認める

## 6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分：病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ：助産師 2 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、常位胎盤早期剥離による胎児低酸素・酸血症であると考えられる。

(2) 妊娠高血圧症候群が常位胎盤早期剥離の関連因子であった可能性を否定できない。

(3) 常位胎盤早期剥離の発症時期は特定できないが、妊娠 41 週 1 日の 22 時頃またはその少し前の可能性があると考えられる。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価

### 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

(1) 入院後の対応（内診、分娩監視装置による胎児心拍数の確認、医師への連絡、血液検査、超音波断層法の実施）は一般的である。

(2) 胎児心拍数陣痛図所見（胎児心拍数基線徐脈、基線細変動消失）、超音波断層法（胎児心拍数の確認）により高度徐脈と診断し、帝王切開を決定したことは一般的である。

- (3) 「原因分析に係る質問事項および回答書」によると帝王切開決定から約1時間後に児を娩出したことは一般的である。
- (4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、胸骨圧迫)および一次蘇生後に高次医療機関 NICU へ搬送したことは概ね一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

新生児蘇生について、分娩に立ち会うすべての医師や看護スタッフが「日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト」に則し、より適切な処置が実施できるよう、さらに研鑽することが望まれる。

【解説】 新生児蘇生における胸骨圧迫等の処置についてもより迅速に対応できるよう、医師や看護スタッフが協力しながら行うことが重要である。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

緊急帝王切開により迅速に対応できるよう、院内における手順を決めておくこと、および普段よりシミュレーション等を行い、体制を整えておくことが望まれる。

【解説】 胎児徐脈が認められた場合、児の速やかな娩出が児の予後に影響を与えるので、できる限り早い時期に手術を開始することが望まれる。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

常位胎盤早期剥離は、最近の周産期管理においても予知が極めて困難であるため、周産期死亡や妊産婦死亡に密接に関与する。常位胎盤早期剥離の発生機序の解明、予防法、早期診断に関する研究を推進することが望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。